

会 議 記 録 簿

記 録	職・氏名 社会教育課(施策担当) 主査 津田 紗希子		
件 名	令和7年度第4回恵庭市生涯学習推進協議会 (社会教育委員の会議・公民館運営審議会 合同会議)		
日 時	令和7年9月17日(水) 14:00～16:10	会 場	市民会館(大会議室)
出席者	生涯学習推進協議会委員 松田、井上、高橋、水野、茶園、佐藤、神田、野藤、徳家、吉田、大塚、小川原、熊野、藤岡 (欠席者)中山、平井、根深、安中、八木橋、渡辺 市教委 ＜社会教育課＞ 黒氏課長、津田主査(社会教育主事)、飛弾野主事、伊藤(実習生)	人 数	委員 14名 市教委 3名 計 17名

概

要

1. 開 会

2. 会長挨拶

松田会長より挨拶

3. 【議題】

(1) 第3回生涯学習推進協議会の振り返り

第3回では、計画を作り込んでいくにあたり、この計画に記載することが求められる“市民に必要な生涯学習とは具体的に何があるのか”について、さらに、“その学びがなぜ必要なのか”についてもグループワークにより委員の皆さんから意見をいただいた。

⇒委員の皆さんにたくさん出していただいた“ライフステージや多様なニーズに応じた個別の学び”の内容については今後計画のなかに記載していく

⇒なぜ“その学びが必要か”という問いに対しては、個別の学びのほか、「つながり」「人とのかわり」「新しい世界を知ること」などが重要であるという意見がどの学びにおいても共通していた。

(2) 第6期恵庭市生涯学習基本計画の基本理念・基本目標について

前回の振り返りをふまえて、以下のテーマでグループワークを行なった。

(熟議テーマ) 市民が生涯にわたる学びを得るために恵庭にいま足りない！と思うものはなにか。

❶ ライフステージごとの学び、多様なニーズに対応する学びを市民が得たいときに得るには、現状の恵庭市には何が足りない？

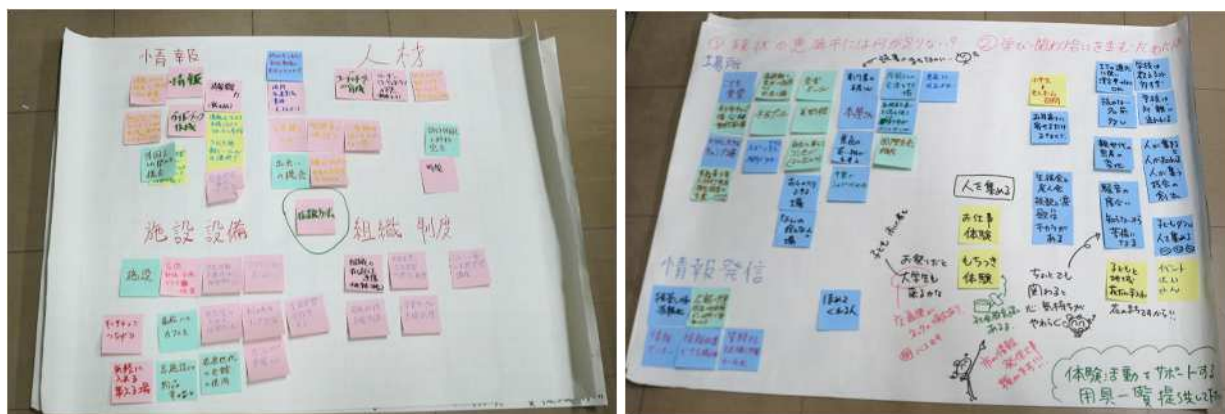
❷ 学び合い・関わり合いを生むために何があるとよい？

グループワークの様子▼



(3) グループワーク意見交換結果

別紙のとおり



4. 今後について

今回のグループワーク意見交換結果を、基本目標の中核と位置付けて、次回会議にて案を示す。そのうえで、計画を推進するにあたっての毎年度の成果の確認方法について熟議を行う予定。

以上

第4回会議グループワークまとめ

- ・市民が生涯にわたる学びを得るために恵庭にいま足りない！と思うものは何か。現状の恵庭市には何が足りない？

グループの共通項

情報

- ・情報スキルの格差を減らすための講座
- ・SNS等新しいツールの活用
- ・生涯学習案内アプリ
- ・情報を伝える手段
- ・ガイドブック作成
- ・検索しやすい情報化

人材

- ・コーディネーターの育成
- ・横のつながり
- ・出会いの機会
- ・一歩踏み込んだ人との距離感

施設 設備

- ・夜間に勉強・会議できる施設
- ・市民活動相談窓口
- ・気軽に集える場
- ・各施設の物品貸し出し
- ・子ども食堂 ・体験活動機会の充実
- ・国際交流の機会

組織 制度

- ・組織の枠を超えた連携
- ・資格取得支援制度
- ・学習サークル支援制度
- ・大学生等による学習サポーター制度
- ・ジャンルごとの生涯学習講座
- ・人が集まる・人が知れる・人が集う
機会の創出